

最上町住宅リフォーム支援事業

- ・ 一般世帯：工事費の20%（上限24万円）
- ・ 移住、新婚、子育て世帯：工事費の1/3（上限30万円）
- ・ やまぼっかりノベ該当の断熱工事は上限加算有
- ・ 全体改修は+20万円、部分改修は+10万円
- ・ 屋根修繕などのリフォームと相性◎

ゼロカーボンシティ推進事業 太陽光発電設備等導入補助金

- ・ 太陽光発電設備 最大 93万円
- ・ 断熱改修 最大120万円
- ・ 家庭用蓄電池 最大 80万円
- ・ 高効率空調機器（エアコン） 最大 15万円
- ・ 木質バイオマス燃焼機器 最大 70万円

組み合わせて使えるのは最上町ならではの！こんな組み合わせが出来ます！

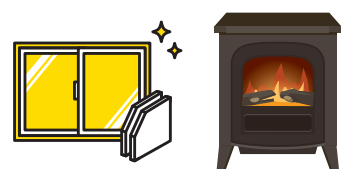
A 家の修繕と電気代対策



- 屋根修繕
- 太陽光発電
- 高効率エアコン

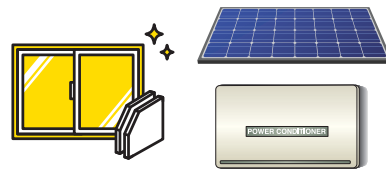


B 断熱と暖房をまとめて見直し、暖かい住まいへ



- やまぼっかりノベ
- 断熱改修
- 木質バイオマスストーブ

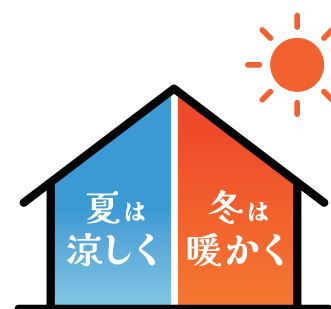
C 省エネと創エネ・蓄エネをまとめて実現



- 断熱リフォーム
- 太陽光発電
- 蓄電池

組み合わせなどは、お気軽に電話、窓口へご相談ください。

最上町役場 商工観光課 エネルギー産業推進室
0233-443-2111（内線214）



知っておきたい省エネ住宅のマメ知識

冬場だけではない断熱材の効果とは？

「断熱」と聞くと、寒い冬に家の中を暖かくするためのもの…そんな印象をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。ところが、近年は夏の厳しい暑さから暮らしを守るうえでも、住宅の断熱性能がますます大切になっています。断熱性能の高い家は、例えるなら魔法瓶のようなものです。冬は暖房でつくった暖かさを逃しにくく、夏は冷房でつくった涼しさを外へ逃がしにくくなります。

反対に、断熱が十分ではない家では、穴の開いたバケツのように水が漏れだします。屋根や壁、窓などから外気が伝わりやすく、せっかくエアコンをつけても効きにくく、より多くのエネルギーを消費します。省エネというと、「冷暖房を我慢する」「使う時間を減らす」と考えがちです。しかし、暑さや寒さを気合で我慢する暮らしは、長く続きません。これから目指したいのは、我慢で無理する省エネではなく、少ないエネルギーでも心地よく過ごせる住まいをつくる「快適な省エネ」です。

その土台となるのが、窓や壁、床、天井などの断熱改修です。断熱性能を高めれば、冷暖房の効きが良くなり、部屋ごとの温度差も小さくなります。エアコンや太陽光発電を導入する場合も、まず住まいの「熱の逃げ道」を見直すことで、その効果をより生かしやすくなります。住宅は、一度手を入れれば長く使い続けるものです。

だからこそ、目先の設備だけでなく、これから先の暮らしを支える「家の基本性能」に目を向けてみませんか。町では、住宅リフォーム支援事業とゼロカーボンシティ推進事業を組み合わせ、断熱改修や高効率エアコン、太陽光発電などを支援しています。このページをご覧いただき、ご自宅に合ったリフォームの組み合わせを、ぜひお気軽にご相談ください。

住まいの困りごと、
別々に考えていませんか？

太陽光・断熱
エアコンまで
手厚く補助！



2つの補助金を使うことで 住まいの省エネリフォームが ぐっとお得に！！



太陽光・断熱・エアコンにここまで手厚い補助。

組み合わせて使えるのは最上町ならではの。

屋根の修繕、冬の寒さ、夏の暑さ、そして光熱費。実は、これらの悩みは一緒に見直すことで、より効果的に解決できるかもしれません。町では、住宅リフォームと太陽光発電、断熱改修、高効率エアコンなどへの補助を組み合わせ活用できます。まだ使えるからと我慢を続ける前に、これからの暮らしに必要な修繕や設備を考えてみませんか。

こんなお悩みありませんか？



- ✓ 電気代・灯油代が家計の負担になっている
- ✓ 夏は熱く、冬は寒い
- ✓ 屋根や窓、設備を見直したいけれど費用が心配



住まいの修繕と省エネ設備を別々に考えると、費用も手間も大きくなりがちです。

リフォームしたいのに後回しになりがち



そこで、最上町の2つの補助事業！

「住宅リフォーム支援事業」と「ゼロカーボンシティ推進事業」を組み合わせることで、住宅の修繕と省エネ化をまとめて後押し。自己負担を大きく抑えながら、快適で暮らしやすい住まいづくりが出来ます。